

別添資料

1. 平成22年のトキの繁殖ペア

前年の18ペアのうち1ペアを解消し、佐渡トキ保護センターの繁殖可能個体より新規に4ペアを形成し（W、X、Y、Zペア）、全21ペアで繁殖に取り組みました（表1）。

繁殖方法としては、基本的に下記（表1）の方針で取り組むこととしましたが、各ペアや全体の繁殖状況等を考慮しながら対応しました。

（表1）平成22年の繁殖ペア ※印は新規ペア

ペア	個体(♂×♀)	飼育場所	方針
A	ヨウヨウ×ヤンヤン	センター	
B	ユウユウ×メイメイ	センター	第1クラッチは人工孵化、第2クラッチは自然孵化
E	No.27×No.40	センター	人工孵化
F	No.20×No.48	センター	人工孵化、自然孵化
G	No.28×No.23	多摩動物公園	第1クラッチは人工孵化、第2クラッチは状況に応じて判断する
I	No.33×No.52	いしかわ動物園	第1クラッチは人工孵化、第2クラッチは状況に応じて判断する
K	No.34×No.58	多摩動物公園	第1クラッチは人工孵化、第2クラッチは状況に応じて判断する
M	No.80×No.36	センター	人工孵化、自然孵化
N	No.37×No.68	ステーション	自然孵化
O	No.39×No.100	センター	人工孵化
P	No.96×No.53	ステーション	自然孵化
Q	ホワヤン×No.54	センター	第2クラッチまで人工孵化
R	No.82×イーシューイ	センター	第2クラッチまで人工孵化
S	No.35×No.104	センター	人工孵化
T	No.86×No.115	ステーション	自然孵化
U	No.106×No.129	ステーション	自然孵化
V	No.62×No.26	ステーション	自然孵化
W※	No.71×No.87	ステーション	自然孵化
X※	No.88×No.139	いしかわ動物園	第1クラッチは人工孵化、第2クラッチは状況に応じて判断する
Y※	No.164×No.163	センター	第2クラッチまで人工孵化
Z※	No.182×No.157	センター	第2クラッチまで人工孵化

2. 繁殖結果

（1）産卵状況

3月7日の初産卵（Pペア）から、6月14日の最終産卵（Kペア）までの間に、Aペアを除いた20ペアから合計149個の卵が産まれました。

1ペア当たりの産卵数は7.5個（平成21年：6.3個）で昨年を上回っています。

また、149個の卵のうち、産卵直後に破卵した14個の卵を除く135個について検卵を行った結果、有精卵は85個、無精卵は50個と判定されました。

(2) 孵化状況

85個の有精卵から自然孵化で10羽、人工孵化で56羽、合計66羽のヒナが孵化しました。残りの19卵については、10卵が発育中止、9卵は抱卵中もしくは自然孵化直前の破卵により孵化に至りませんでした。孵化率は77.6%と昨年を上回りました(平成21年:75.4%)。

(3) 育雛状況

自然孵化した10羽のヒナのうち、1羽が自然育雛中に圧死(Tペア)したほか、人工孵化した56羽のうち6羽(センター1羽、多摩動物公園4羽、いしかわ動物園1羽)が人工育雛中に死亡しました。

59羽のヒナが順調に成育しており、すべて無事に巣立ちを終えています。

(4) 飼育下での自然繁殖の状況について

自然繁殖に成功したペアは21ペア中4ペア(P、T、U、Wペア)でした。

また、自然育雛については上記4ペアの他、10ペア(B、E、F、M、N、O、Q、R、V、Y)が成功しています。

(表2) 各ペア(21ペア)の繁殖の状況

ペア	場所	産卵数	有精卵				無精卵	不明卵 (破卵)
			自然孵化	人工孵化	発育中止	破卵		
A	センター							
B	センター	7		5		2		
E	センター	7		4		1	2	
F	センター	4			2	2		
G	多摩	7		4(死亡1)	1	2		
I	いしかわ	11		5(死亡1)	2	2		
K	多摩	11		3(死亡3)	3	4	1	
M	センター	8		5	1	2		
N	ST繁殖	9		2	1	4	2	
O	センター	5				5		
P	ST繁殖	8	3	4		1		
Q	センター	12		4		6	2	
R	センター	7		3		4		
S	センター	7		1		4	2	
T	ST繁殖	4	3(死亡1)				1	
U	ST繁殖	4	2			1		
V	ST繁殖	9				7	2	
W*	ST繁殖	6	2	2			2	
X*	いしかわ	8		4		4		
Y*	センター	8		6		2		
Z*	センター	7		4(死亡1)		3		
計		149	10(死亡1)	56(死亡6)	10	9	50	14

※印は新規ペア

3. 我が国の飼育下におけるトキの個体数（7月22日現在）

平成22年の繁殖期は、合計59羽のトキが成育し、成鳥114羽とあわせ、我が国の飼育下におけるトキの総個体数は173羽となりました。

○佐渡トキ保護センター	:	128羽	（うちH22生	35羽）
○同センター野生復帰ステーション	:	23羽	（うちH22生	13羽）
○多摩動物公園（東京都日野市）	:	10羽	（うちH22生	3羽）
○いしかわ動物園（石川県能美市）	:	12羽	（うちH22生	8羽）
合計		173羽	（うちH22生	59羽）

[参考1]

トキの繁殖実績

平成22年7月22日

	繁殖ペア数	産卵数		有精卵	無精卵	不明卵	ふ化数	
	(A)	(B)	1ペア平均 (B/A)	(C)			(D)	ふ化率 (D/C,%)
H11	1	4	4. ⁰	2	1	1	1	50. ⁰
H12	1	10	10. ⁰	2	8	0	2	100. ⁰
H13	2	17	8. ⁵	15	1	1	13	86. ⁷
H14	2	21	10. ⁵	18	3	0	14	77. ⁸
H15	3	33	11. ⁰	20	6	7	19	95. ⁰
H16	5	34	6. ⁸	25	8	1	22	88. ⁰
H17	7	42	6. ⁰	27	13	2	22	81. ⁵
H18	9	46	5. ¹	30	3	13	23	76. ⁷
H19	11	54	4. ⁹	30	13	11	18	60. ⁰
H20	20	121	6. ¹	55	43	23	31	56. ⁴
順化ケージ除く	16	102	6. ⁴	47	40	15	29	61. ⁷
H21	18	113	6. ³	61	38	14	46	75. ⁴
H22	21	149	7. ⁵	85	50	14	66	77. ⁶
計 (又は平均)		644		370	187	87	277	74.9



トキと共に守る自然

[参考2]

飼育下におけるトキの個体数の推移

平成22年7月22日

年	個体数	増加			減少			
			ふ化数	受入数		放鳥数	中国への移送数	死亡数
H10	1	—	—	—	—	0	—	—
H11	4	3	1	2	0	0	0	0
H12	7	3	2	1	0	0	0	0
H13	18	13	13	0	2	0	0	2
H14	25	14	14	0	7	0	2	5
H15	39	19	19	0	5	0	3	2
H16	58	22	22	0	3	0	0	3
H17	80	22	22	0	0	0	0	0
H18	97	23	23	0	6	0	0	6
H19	95	20	18	2	22	0	13	9
H20	112	31	31	0	14	10	0	4
H21	123	46	46	0	35	19	10	6
H22	173	66	66	0	16	0	0	16
(増減の)計	—	282	277	5	110	29	28	53

※個体数欄は、各年12月末における個体数(ただし、H22は表作成日における個体数)。

※増加および減少欄は年間(1月～12月)の個体数の増減を表す。



トキと共に守る自然

[参考3]

トキの生年別飼育状況

平成22年7月22日

ふ化年	繁殖ペア数	ふ化数	ふ化個体の現状			
			飼育中(注1)	中国への移送(注2)	ふ化後死亡(注3)	放鳥
H11生まれ	1	1	1	0	0	0
H12生まれ	1	2	2	0	0	0
H13生まれ	2	13	7	2	4	0
H14生まれ	2	14	6	3	5	0
H15生まれ	3	19	9	4	6	0
H16生まれ	5	22	11	4	6	1
H17生まれ	7	22	13	2	1	6
H18生まれ	9	23	6	2	7	8
H19生まれ	11	18	9	1	5	3
H20生まれ	20	31	10	4	6	11
H21生まれ	18	46	35	6	5	0
H22生まれ	21	66	59	0 (5羽を移送予定)	7	0

注1: 当該年に生まれた個体のうち、現在も佐渡トキ保護センター、多摩動物公園及びいしかわ動物園で飼育されている個体数。

注2: 当該年に生まれた個体のうち、中国に移送された個体数。

注3: 当該年に生まれた個体のうち、我が国において既に死亡した個体数。



トキと共に守る自然